穂　学

令和４年度
広州日本人学校　学校便り
［Ｎｏ１２］
令和４年９月 16 日（金）
発行責任者 校長　加藤康徳

「家読（うちどく）について」

本校では有志の保護者の方にボランティアとして定期的に「朝の読み聞かせ」を実施してもらっております。読書は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。かつて、私が小学校１年生を受け持っている時に子ども達に「海」に関するお話の本を読んであげたことがありました。読み終わった後、ある子どもが私の着ていた青いシャツを指さして、「加藤先生は海を着ているね。」と言ったことがあり、子どもの発想力、表現力に驚いたことを今でも覚えております。

子どもの読書習慣は日常の生活を通して形成されます。本校では図書担当教諭を中心に、子どもの読書環境の充実に努めております。各家庭においても子どもが本に出会い、本に親しむきっかけをつくったり、読書に対する興味や関心を高めたりできる環境づくりをお願いしたいです。そして、家族で「家読（うちどく）」に取り組んでみてください。

また、「家族で読書の時間を設定することはなかなかできない。」というご家庭にお薦めの「家読（うちどく）」をご紹介いたします。それは、『子どもが読んだ本について家族で話をする』ことです。夕食の時にでも「最近読んだ本は何？」「どんなお話なの？」これならそれほどハードルは高くないのではないでしょうか。そこから本とは関係のない話に発展してもかまいません。大切なのは「読書をすること」ではなく、読書がきっかけとなってコミュニケーションが広がったり、物事を広く、深く考えたりすることだと私は考えます。

家読に、決まったルールやスタイルはありません。

以下、読書に関する名言を掲載します。※紀元前から現代にかけて、様々な偉人が本の大切さを実感していたのですね。

○読書家の一族は、世界を動かす者たちなのだ。（ナポレオン・ボナパルト）
○あらゆる良書を読むことは、過去数世紀の最高の人々と会話するようなものだ。（デカルト）
○読もうとしない人は読めない人に劣る。（マーク・トゥエイン）
○あなたが絶対に知るべき唯一のものとは、図書館の場所である。（アインシュタイン）
○今日の読書こそ、真の学問である。（吉田松陰）
○良い本を読まない人は、字の読めない人と等しい。（ソクラテス）
○書物は我々のうちなる凍った海のための斧なのだ。（フランツ・カフカ）

＜学校経営のスローガン＞

「つながり」を「未来に実感」させる

広州日本人学校の創造

＜大切にする５つのつながり＞

①先生とのつながり

②授業とのつながり

③友だちとのつながり

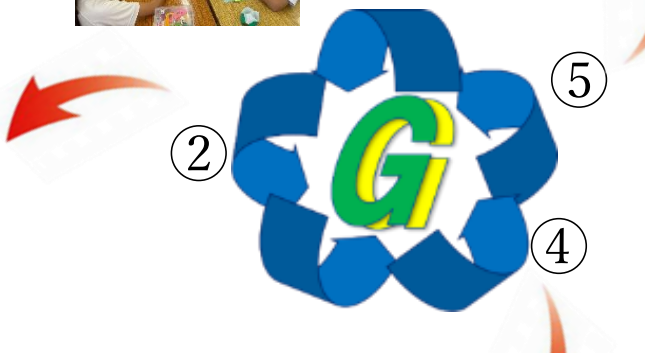
④保護者・日本人社会とのつながり

⑤中国とのつながり

＜中国人スタッフとの交流（小４）＞

＜今年度のプール学習が終了しました＞

※健康チェックなどのご協力に感謝いたします。



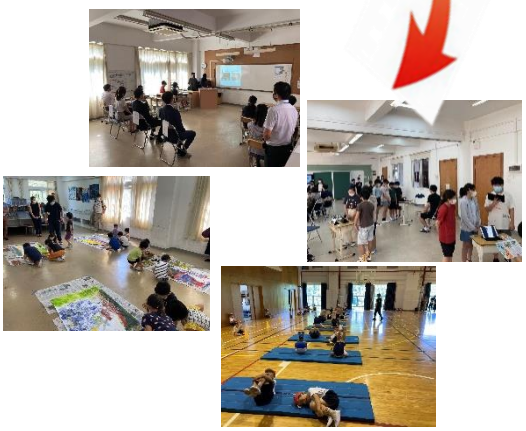
「JOES Davos Next」プロジェクト　オンラインイベント

※講演会に中学部の生徒が全員で参加しました。

日時：2022 年 9 月 6 日（火）※海外子女教育財団主催

講師：京都大学 iPS 細胞研究所 名誉所長　山中 伸弥　教授

テーマ：夢を叶える力　　**↓※生徒の感想**



＜参観日（9/3：土）※中学部は懇談会も実施＞

○まだ夢は無いけど自分の将来の選択肢を増やすためにも小さな目標を一つ一つていねいにこなして努力していきたいです。夢は決めなくても勝手に決まるみたいなので、自分のペースで頑張ろうと思います。

○VW を普段から意識した。自分が何をすべきか、何のためにするのか、それをどうしていくか、ある程度の予定や予測をしていきたい。今の海外経験は貴重なものなので、だから、いろいろなことに挑戦していく。夢は無理に探さず、いろいろな経験を通して決めたい。だから失敗を恐れず頑張っていきたい。

○大きな目標を持ち、その目標に向けてのビジョンを持ち、そのビジョンに向けて「work hard」することが大切だと分かった。失敗をたくさんすればするほど、成功した時の成果が大きくなると仰っていたので、失敗を恐れずに挑戦したい。

「新型コロナウイルスの対応について」

本校は昨年度より、中国国内の新型コロナウイルスの感染状況に応じたレベル（４段階）を定め、クラスターの発生を回避しながら教育活動を推進しております。

オミクロン株は昨年までのデルタ株とは違い、感染の拡大が早いです。状況に応じて即具体的な対応をすることもあります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。※新型コロナウイルス感染防止の対応結果が「空振り（大げさ）」で終わる可能性もありますが、「空振り」にも意味があります。児童生徒の安全と安心を確保するためにご理解ください。